

淀川水系流域委員会様

私たちの会は、代表 森本博名で関係行政責任者に添付の「申し入れ書」を送付致しました。
淀川水系流域委員会の委員の皆様に参考としてお届けいたします。
委員皆様のご審査に心から敬意と感謝を申し上げます。

伊賀の水と緑を考える会 畑中尚

奈良県知事 柿本善也様

三重県知事 野呂昭彦様

西宮市市長 山田知様

国交省 近畿地方整備局 河川部長 宮本博様

2004年(平成16)11月10日

伊賀の水と緑を考える会 代表 森本 博
〒518-0226 伊賀市阿保 1299 青山郵便局私書箱2号
事務局 0595-52-1183



申し入れ書

秋涼の候、貴職におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は水道事業行政に格別のご理解とご協力賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私達「伊賀の水と緑を考える会」は、川上ダム建設と利水、即ち水需要の精査・確認についての国交省近畿地方整備局の取り纏めを注視しています。

私達の会は、ダム建設と自然環境、費用対効果、水道行政等に関心を持ち日々研鑽しています。特に水需要予測と人口予測は行政側と科学的データーを出し合い、話し合えば必ず皆様方と合意形成ができると信じています。

奈良県におかれましては2004年3月5日、柿本知事が議会で「川上ダムから利水の撤退」を表明されました。水需要の精査確認を将来予測に基づいて出された結論として歓迎しています。

西宮市におかれましては川上ダムにこだわらず費用対効果を整理して近く結論をお出しいただくと聞いています。撤退費用、継続費用、工業用水の転用、周辺自治体との調整があるとも伺っています。私達を大きく励ましていることに水源地域の環境等配慮する必要があるとの見識を示されていることです。

三重県におかれましても水需要の精査をされ、川上ダムからの水利権40%削減の下方修正をされました。県の公共事業再評価委員会は伊賀に水不足があるなら長良川の水を持っていけばとの意見も出ていますが、私達は、伊賀には水不足は起きないと確信しています。川上ダム建設によって自然環境に重大な悪影響を与え、生態系を壊し、次世代に負の遺産を残してはならないというのが私達の結論です。

下記の項目について申し入れ致します。

1. 水需要の精査を早急に行い、データーを添えて国土交通省近畿地方整備局及び淀川水系流域委員会に提出して下さい。
1. 川上ダム建設は中止し、森林公園・親水公園・森林整備・山村地域の活性化策など「緑のダム構想」の実現に努力して下さい。